

令和 8 年度第 1 回東近江市総合教育会議 会議録

日 時 令和 8 年 6 月 24 日（水） 午前 9 時 30 分 開会

場 所 準学校法人日本ラチーノ学院 会議室

出席者

市長	小 椋 正 清	副市長	南川 喜代和
副市長	久田 哲哉	教育長	澤 英幸
教育長職務代理者	山本 一博	教育委員	神寄 由紀美
教育委員	青地 弘子	教育委員	真山 達志
日本ラチーノ学院 理事長	仲 晃生	日本ラチーノ学院 学院長	カミムラ カイオ
日本ラチーノ学院 業務代表理事	平木 秀樹	日本ラチーノ学院 事務局長	鳥越 さつき
日本ラチーノ学院 総務	山田 恵美	山上小学校長	西堀 恵美子
市原小学校長	山本 恭子	企画部長	中堀 智之
教育部長	福井 健次	教育部次長	堀 喜博
永源寺支所長	寺田 孝史	企画課長	内田 知弥
企画課企画調整係長	溝江 麻衣子	企画課企画調整係主事	三上 航弥
学校教育課長	中山 温子	学校教育課指導主事	五十子 弘祐
(事務局)			
教育総務課長	深見 勝	教育総務課長補佐	小辰 あつ子

以上 26 名

	開会
教育部長	皆様、おはようございます。 本日は、大変お忙しい中、令和 8 年度第 1 回東近江市総合教育会議にお集まりいただき誠にありがとうございます。 ただ今から、会議を始めます。 本日、司会を務めさせていただきます教育部長の福井です。どうぞよろしくお願いいたします。 開会に当たりまして、小椋市長から御挨拶をいただきます。 小椋市長より申し上げます。
市長	皆さん、おはようございます。本日は、令和 8 年度第 1 回東近江市総合教育会議をこのラチーノ学院で開催できることを心から嬉しく思います。当初は 2 月に予定をしておりましたが、大雪の影響で中止となりましたので、待望のラチーノ学院での開催となります。 私とラチーノ学院との出会いは、私が東近江市長となった平成 25 年でした。当時ラチーノ学院は近江八幡市にありましたが、施設が手狭で移転を検討されておられたところ、本市の閉校した旧甲津畑小学校の校舎を活用していただけないかということで、地元との調整や施設の整備などを行ってまいりました。一つ一つの課題を解決しながら、カミムラ学院長や

市長	鳥越事務局長をはじめとするスタッフのもてこのように素晴らしい教育を継続されていることに心から感謝を申し上げます。引き続きよろしくお願いいたします。 今年の6月1日現在、本市には5,322人の外国人が居住しており、市内の全人口の4.8パーセントに当たります。10年前は2,640人、2.2パーセントでしたので、比較しますと約2倍に増加しておりこの傾向はまだまだ続きます。 当面は、本日のテーマにありますように、ラチーノ学院と市内の小学校との交流から始め、単なる子供たちの交流だけではなく、地域と地域、国と国の交流に発展し、みんなが東近江市民なのだという認識を持てるようなまちを構築していきたいと思っています。そのためには非常に重要な会議だと思っています。本日の総合教育会議が有意義な会議となりますようお願いし、挨拶いたします。どうぞよろしくお願いいたします。
教育部長	続きまして、澤教育長よろしくお願いいたします。
教育長	皆さん、おはようございます。東近江市教育長の澤でございます。 日本ラチーノ学院は、市原小学校や山上小学校と国際交流に取り組んでいただいたり、フローティングスクールでは市内の小学校と交流同乗校になったりするなど、子供たちが普段から一緒に学んでいるところです。また、昨年度は、市の芸術展に急きょ出展をお願いしたところ快く応じていただきました。 本日は、これらの交流活動の成果を聞かせていただくとともに、東近江市の子供たちに今後どのような学びを与えることができるのかヒントを得たいと考えております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。
教育部長	ありがとうございました。 本日の出席者は、お手元の座席表のとおりでございます。 続きまして、本日の資料について確認いたします。 (資料確認)
教育部長	それでは、次第に従い会議を進めさせていただきます。 最初に、日本ラチーノ学院カミムラ学院長から御挨拶を賜りたく存じます。カミムラ学院長よろしくお願いいたします。
日本ラチーノ学院学院長	おはようございます。 本日は、小椋市長や教育委員会の皆様を本校にお迎えできましたことを大変光栄に存じます。また、日頃から本学院の教育活動及び東近江市に暮らしているブラジル人コミュニティに対し、多大なる御支援と御配慮を賜っておりますことに深く御礼申し上げます。 今から118年前の1908年、笠戸丸が781名の日本人移民を乗せてサントス港に到着し、日本からブラジルへの移民の歴史が始まりました。そこから118年経った現在、私たち移民の子や孫、ひ孫たちは、その歩みとは逆の道をたどり、祖先の故郷である日本へと戻ってまいりました。 私たちもまた、かつて日本人移民の方々がブラジルで果たしたように、日本社会に積極的に貢献し、両国を結ぶ友情と絆をさらに深めていきたいと願っています。そして、敬意と感

日本ラチーノ学院学院長	謝、温かい心をもってこの素晴らしい歴史をこれからも共に紡いでいきたいと考えております。本日は、誠にありがとうございます。
教育部長	ありがとうございました。 続きまして、鳥越事務局長から学院の様子について御説明をいただきます。 よろしくお願いします。
日本ラチーノ学院事務局長	(説明)
教育部長	ありがとうございました。 それでは、実際に授業の様子を見学していただきますので、恐れ入りますが移動をお願いします。 (学院内 見学)
教育部長	続きまして、山上小学校西堀校長から、日本ラチーノ学院との交流について説明をお願いします。
山上小学校長	(説明) 市原小学校山本校長から補足説明をお願いします。
市原小学校長	(説明)
教育部長	ありがとうございました。 ここまで学院内見学、交流についての説明を聞いていただきましたが、皆様から御意見、御質問等をお伺いしたいと思います。
山本教育長職務代理者	先日、家の近くでラチーノ学院の送迎バスが止まり、子供が2、3人降りていくのを見かけました。自分の町からラチーノ学院に通っている子がいることを初めて知り、びっくりしました。 ちょうど関心が高まった時にこのような機会をいただきありがとうございます。自分たちが外国籍の子供たちに何ができるのか改めて考えなければいけないと感じました。
南川副市長	ラチーノ学院の移転の話がスタートした平成25年は、私は企画部の次長をしており、学院の移転に関わっていました。先ほど鳥越事務局長から「久しぶり。」と声を掛けられましたが、約10年ぶりに訪問をさせていただきました。移転当時の頃を知っているので、うまくやっていたらいいなと感じました。また、当初はそれなりに整備もしましたが、平成5年頃に建てられた施設ですので、今後の維持管理が気になるところです。
神寄委員	給食が朝と昼の2食あるのは大変だろうと感じました。また、好き嫌いなどで給食を

神寄委員	残すことはないのでしょうか。
日本ラチーノ 学院事務局長	たくさんあります。私も食べ物を捨てるのはもったいないことだと教わって育ちましたので、最初から食べられる分だけもらうように指導をしています。
神寄委員	日本の小中学校の給食でも残食の問題があると聞いており、食育の面からも残った給食をどうするかというのは共通の課題であると感じました。また、自分自身が日本文化の授業の一環として小中学校で琴の演奏をしているので、そのようなこともできればいいなと思いました。
青地委員	ブラジル人の子供でも地域の学校に通っている子供もいます。そのような子供たちとラチーノ学院に通っている子供たちにどのような違いがあるのか知りたいと思いました。なぜなら、子供たちの表情が非常に明るく、先生が丁寧に話をされていて小さな子供たちもしっかりと話を聞いており、これは、日本の子供たちの方が学ばなければいけないなと思いましたので、この辺りに違いがあるのだらうと感じました。また、施設を非常に有効に活用していただいていることをうれしく感じました。残念ながら旧政所中学校や旧政所小学校は、道の駅やダンススクールに形を変えておりますが、ここは学校機能を残して施設をそのまま、しかも以前の子供たちが描いた作品を大事に残していただいています。非常にうれしいことです。
真山委員	子供たちの勉強態度が非常に真面目でした。最近の日本の小学校の様子は分かりませんが、昔の日本の授業風景のようでした。先生の教え方も非常に丁寧に大変感銘を受けました。 ところで、山上小学校や市原小学校は地元ということでラチーノ学院と活発に交流をされており素晴らしいと思うのですが、せっかく東近江市にラチーノ学院がある中で市内のほかの小中学校との交流はされないのですか。また、東近江市内でのラチーノ学院の認知度はどの程度なのでしょう。市長もこれだけ力を入れておられるので、もっと東近江市内に広げるといいなと思います。
市長	それを教育委員の皆さんにお願いしようと思っていたのです。市原小学校や山上小学校の話を聞いて全市域に広げていきたいと思っていますので、ぜひ協力していただきたいです。また、両校長にはノウハウがあると思いますので、校長会議でのテーマにするなど具体的に話を進めていただきたいと思います。 ちなみに、交流はいつから始まったのですか。
日本ラチーノ 学院事務局長	こちらに来てからずっと行っています。 市原小、山上小の4年生がラチーノ学院を訪問するのは3～4年前からですが、昔は、ラチーノ学院から音楽会に行っていました。
市長	真山委員がおっしゃったように、せっかくこのようないい事例があるのだから全市域に広めていただけるとありがたいと思います。 また、先ほど青地委員もおっしゃっていましたが、私もどのような子供たちが来ているの

市長	か非常に興味があります。逆の立場で、私は家族とニューヨークに住んでいたことがあるのですが、その時に日本人学校と現地校があり、私の子供は現地校に通わせていました。 東近江市内でも、私の子供のように現地校に通っている外国籍の子供たちが市立小中学校にはたくさんいます。そのような子供たちの支援を行うため、日本語を習得するための「いろは教室」を始めました。私がアメリカで逆の立場で苦労したことを今度は東近江市でやろうということで、とにかく日本語をマスターしてもらおうと思っています。 また、御園小学校にはブラジル人の児童がたくさんいます。その子供たちとラチーノ学院の生徒との交流が始めやすいのではないかと思います。今日は、非常に大きな意義のある会議になると期待しておりましたのでよろしくお願いします。
久田副市長	私が最初にラチーノ学院を訪れたのは、コロナ禍の施設改修の時でした。その頃の印象と全く変わらず、皆さんがおっしゃるように先生たちは熱心に指導され、子供たちは礼儀正しく一生懸命に勉強されています。 小学生はこのような交流をしていますが、大人世代は甲津畑小学校が廃校になってここに外国人学校があるということをどれだけ知っているのでしょうか。おそらくそれほど御存知ないと思います。 甲津畑小学校は、東近江市へ合併後に統合となりましたが、合併前にも統合の話がありました。しかし、一集落で一小学校でしたので、甲津畑の皆さんは地域の象徴としてこの小学校を何とかしたいという思いがあったのだと思います。その思いが今もあるので地域とラチーノ学院さんとがものすごくいい関係性を保っておられるのだと思います。地域と学校が一緒になって、子供の声が聞こえる関係性を大事にしていきたいし、我々も大事にしていきたいと思います。
教育部長	仲理事長、いかがでしょうか。
日本ラチーノ学院理事長	今年の4月1日から理事長に就任しました弁護士の中 晃生と申します。よろしくお願いします。私は、弁護士になる前に草津市でブラジル人の子供たちの学習支援や居場所づくりを行っておりました。 ラチーノ学院も以前の古い校舎を訪問したことがありますが、それがこのような素晴らしい場所に移転できて、子供たちがいきいきと学べる場所があります。そこに今回縁があつて理事長として就任をさせていただきました。皆様には、御尽力を賜りますようよろしくお願いいたします。
教育部長	ありがとうございます。続きまして、ラチーノ学院の平木業務代表理事からいかがでしょうか。
ラチーノ学院業務代表理事	本日は、皆様方にラチーノ学院の実情を見ていただきましたので、学校運営上直面している問題をいくつかお話しさせていただけたらと思います。運営面では、スクールバスのガソリン代が高騰しておりますので補助をお願いできたらと思います。そして、物価高騰で言いますと給食の材料費です。これにつきましては、米の価格がかなり高騰しております。これまで地元甲津畑町の農家さんが、ラチーノ学院のためにということで一般価格より安く提供

ラチーノ学院 業務代表理事	してくださっていたのですが、昨年は米の買い付け価格が上昇したこともあって、J Aや民間業者へ売ってしまわれました。そのためこちらへ提供する米がなく、現在は企業から寄付をいただいたものを使用しています。また、施設使用料の減免も検討していただけたらと思います。制度的な部分としましては、外国人学校についても授業料が無償化となるよう県への要望をお願いしたいですし、日本語を習得することが非常に大事なことです。日本語を指導する講師の人件費や教材への支援をお願いしたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。
教育部長	澤教育長いかがでしょうか。
教育長	私は、昨年12月に行われました卒業式に参加をさせていただきました。すごくいい雰囲気の中、晴れやかな会場で子供たちの成長をみんなで祝おうという会になっていたと思います。日本の卒業式とは全く違うなというのが一つ大きな驚きでした。また、それぞれの良さがあって、日本の卒業式は厳粛な中で静かに行われますが、ラチーノ学院では、先生と生徒がお互いに感謝を伝え合う会となっており、いい文化だと思いました。日本の学校でもお互いがもっと感謝をし合って、子供のことも尊敬し、子供ももっと先生方に感謝してほしいと思います。卒業式一つを見ても教えていただくことがたくさんありました。 多くの方から意見がありましたが、子供たちが授業を受ける目がすごく真剣で、何かを学び取って帰りたいという気持ちが伝わってきました。本当に素晴らしい教育をされていると感じました。 また、先ほど市長もおっしゃっていた市内小中学校との交流につきましては、いろいろな形で進められたらと思っております。交流によってお互いを思いやることを学ぶのではないかと思いますし、お互いを尊重することを体現しているのではないかと今日のパワーポイントを見て感じました。同じ東近江市で学ぶ子供たち、教える教員も同じ東近江市で教える教員として切磋琢磨できるといいなと思いました。
教育部長	ありがとうございました。最後に、小椋市長からお願いします。
市長	解決すべき問題はまだあるかとは思いますが、10年を超える歴史を刻んできたわけですからそれを更に進化させていきたいと思います。ラチーノ学院の支援については、本来は、国や県にしっかりとやっていただきたいと思います。我々もできる限り協力をしていきたいと思っています。今日は、皆さんに知っていただけましたので、引き続きよろしくお願いします。今日は大変ありがとうございました。
教育部長	ありがとうございました。皆様からいただきました御意見等によりまして、共通認識、また、新たな視点を得ることができたかと思います。本日いただいた意見を踏まえながら、今後の取組につなげていきたいと思っています。 それでは、以上をもちまして、令和8年度第1回総合教育会議を閉会いたします。 熱心に御議論いただき、ありがとうございました。
会議終了	午前11時20分